

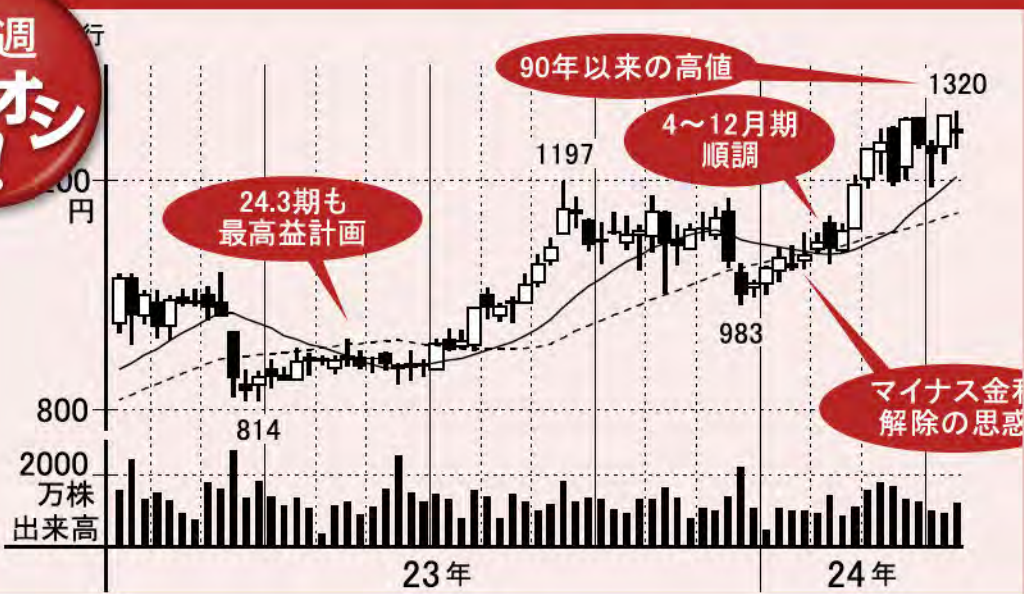
For Best Performance

# 株式ウイークリー

## 東洋経済

当社は本誌で注目した株式銘柄について売買を行いません。

今週のイチオシ!



### contents

2024 [令和6年]

4/29・5/6 [合併号]

## 今週の注目6銘柄

勝ち組地銀

日本  
ブランド

隠れ  
半導体関連

インバウンド  
好調持続

過去最高益

ビル再生

### 過去の注目株<戦績とポイント>

FOMC無風でも連休中の波乱に注意、日経平均は3万8200円での攻防

今週の投資戦略

今週の話題・  
スケジュール

株式市況  
基本指標

投資クリニック

米国市場を斬る

# 今週の投資戦略

再度の日本株買いはあるか、トヨタの決算に注目

4月26日の東京市場で日経平均株価は反発。前日比306円高の3万7934円となった。一方、TOPIX（東証株価指数）も前日比22<sup>ポイント</sup>高の2686<sup>ポイント</sup>で終了した。ヒヤリとさせられた一週間だった。アメリカの大手IT企業の一角であるメタ・プラットフォームズ（META）が低調な業績見通しを発表したことへの警戒感が日本株へも波及。だが結局、ア

ルフアベット（GOOGL）の決算で「相殺」された。週末の日銀金融政策決定会合は大方の予想通り「現状維持」。ドル高円安がさらに進んだものの、日経平均は節目の3万8000円を終値では回復できなかった。4月29～5月3日の週は日本市場が実質3営業日の取引。日本がGWに突入する中で、大手企業の新年度の業績予想が続々と発表になる。総じ

て保守的な予想が目立つが、例えば日立建機（6305）の予想為替レートは1ドル＝141円。中身は決して悪くない企業も多い。懸念は自動車部品企業に減益予想が目立つことだが、「総本山」であるトヨタ自動車（7203）の発表は5月8日。不透明感が払拭されるとみたい。

イの年次総会がある。昨年は「バフェット買い」が本格化した。再度割安な日本株買いが明らかになる可能性もある。日経平均は3万8200円前後が攻防ライン。この水準を再度突破すれば買いが勢いづく。今号は金利上昇がプラスになる金融株を先頭に、半導体関連の穴株などを配置した。なお今号は合併号につき、次号は5月13日号となります。ご了承ください。

（編集長 福井 純）

## 今週の話題

## 「土着」も「グローバル」も、良品計画の挑戦

決算発表が本格化している。直前に全体相場が大きく調整したこともあり、半導体関連企業の今25年3月期の見通しが気になる。だが好業績が見込まれる企業は株価に一定程度織り込まれていることもあり、決算発表後に売られやすいのも事実だ。

その点「3月期決算以外の業績好調の企業」という視点で注目したいのが「無印良品」を運営する良品計画(7453)。本決算は8月期。4月12日に発表の24年8月期の上期(23年9月～24年2月)は売上高に相当する営業収益が前年同期比12.9%増の3198億円、営業利

益は同約2.4倍の240億円。国内の「無印」では値上げが奏功、海外の柱である中国も回復の度合いは百点満点でないものの、既存店がプラスに転じた。デフレに入ったといわれる同国では人々がインテリアなどにお金を消費する傾向があり、良品計画には追い風が吹く。同社は今後ニューヨークなどに旗艦店を出店する方針だが、一方で国内では店舗だけでなく、宿泊・滞在の新事業などを通して地方での存在感を強める。物販だけに頼らない同社の進化は、株式市場にはまだ評価されておらず、注目しておきたい。

## スケジュール (4月29～5月10日)

29日(月)	昭和の日の祝日で東証など国内株式市場は休場	3日(金)	アメリカ4月雇用統計 アメリカ4月ISM非製造業景況指数
30日(火)	決算発表：JR東日本、大塚HD、JR東海 関西電、日本取引所G、商船三井、ZOZO 3月失業率・有効求人倍率 3月鉱工業生産 3月商業動態統計 中国4月コンポジットPMI・製造業PMI・非製造業PMI ユーロ圏1～3月期GDP FOMC(5月1日まで) アメリカ4月CB消費者信頼感指数	6日(月)	振替休日で東証など国内株式市場は休場
1日(水)	決算発表：三井物産、双日、イビデン ジェローム・パウエルFRB議長会見 アメリカ4月ISM製造業景況指数	7日(火)	決算発表：任天堂、リコー、JFEHD 川崎汽船、横河電機、ユニ・チャーム
2日(木)	決算発表：三菱商、住友商、丸紅、日本航空 大東建託、伊藤ハム米久HD、リコーリース アメリカ3月貿易収支	8日(水)	決算発表：トヨタ、伊藤忠、三菱重、オリックス、 LINEヤフー、郵船、AGC、オムロン
3日(金)	憲法記念日の祝日で東証など国内株式市場は休場	9日(木)	決算発表：ソフトバンク、JT、武田薬、ダイキン工業 富士フイルム、パナソニック、日本製鉄、花王 3月毎月勤労統計 3月景気動向指数
		10日(金)	決算発表：東エレクト、NTT、KDDI、三井不 三菱地所、クボタ、大和ハウス、セコム 3月家計調査 3月国際収支 4月景気ウォッチャー調査

(注) 銘柄名の一部は略称で表記。予定は変更されることがあります。  
(出所) 大和証券、マネックス証券ほかのマーケット情報



8331 東証プライム

千葉銀行

買いレンジ 1,290~1,350円

売りレンジ 1,450~1,500円

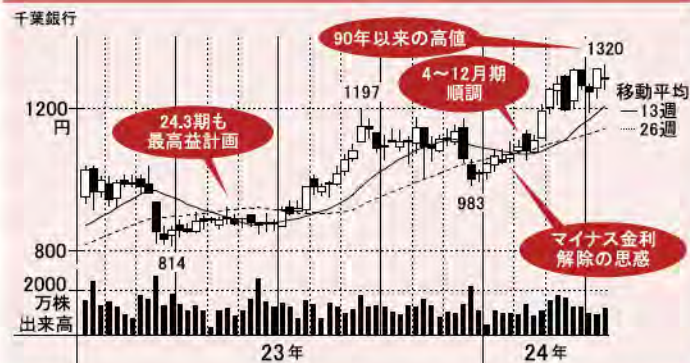
時価=1,334.5円(4.26引け値)

## 融資増勢、与信費用抑制続け連続最高益、増配期待、最高値へ

低PBR

金利先高感による地銀相場はまだまだ続く。資金量では地銀最大級。傘下のちばぎん証券と連携した投信・保険販売強く、預かり資産も地銀最上位級。武蔵野銀との包括提携に加え、横浜銀やソニー銀とも業務提携。米資産運用会社ブラックロックが5%保有。中計で26年3月期に純益750億円を目指している。今年3月期は中小企業向け融資や住宅ローンが堅調で貸出金利増勢。有証利息配当金も堅調。与信費用抑制続け、連続最高益更新。連続増配期待。株価は20年3月安値385円で底打ち。21年からの上値のカベである820円前後を抜き、今年はずいに1990年以来約34年ぶりの高値を取ってきた。目標株価は1470円とするが、PBR0.8倍台でなお割安。89年12月の最高値1560.1円突破を目指す。

PER(株価収益率).....15.6倍  
 PBR(株価純資産倍率).....0.85倍  
 配当利回り.....2.40%  
 営業利益増益率.....1.4%  
 純利益増益率.....1.7%  
 自己資本比率.....5.5%  
 売買単位.....100株  
 年初来高値.....1,344円(4.26)  
 年初来安値.....999.5円(1.4)



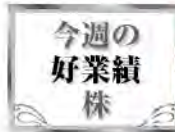
### [信用取組] (千株)

申込期日	売り	買い	倍率
3.29	147	706	4.8
4.5	165	705	4.3
4.12	201	545	2.7
4.19	170	402	2.4

### 業績

	売上高 (百万円)	業務純益 (百万円)	経常利益 (百万円)	利益 (百万円)	1株益 (円)	1株配 (円)
23.3	278,377	81,878	86,983	60,276	82.5	28記
24.3会予	-	-	88,000	61,000 (23.05.15発表)		
24.3東予	280,000	83,000	88,500	61,300	85.7	32
25.3東予	285,000	89,000	94,500	65,000	90.9	32~34

東予は東洋経済予想、会予は会社予想



5889 東証スタンダード

Japan Eyewear Holdings

買いレンジ 2,050~2,150円

売りレンジ 2,300~2,380円

時価=2,123円(4.26引け値)

## 23年11月に上場、高価格帯の眼鏡2ブランドで急成長

**上値更新** 「金子眼鏡」と「フォーナインズ」の高価格帯眼鏡ブランド中心のSPA（製造小売業）。23年11月に東証スタンダード市場に上場した。直営店は国内100弱を有し、フランス、中国、シンガポールに進出済み。金子眼鏡の発祥、鯖江のブランド力で中国人観光客らのインバウンド需要を取り込む。いずれ中華圏で多店舗化する構想も描く。3月13日に発表した今1月期計画は2桁の連続増収増益率、配当性を目安4割に引き上げて44円配（中間、期末とも22円）方針を示した。株価は上場来、25日線上下を切り上げ4月4日に2320円まで上昇。全体相場にツレ安をし、同月19日に1810円まで調整も、直近は買い戻されて高値を軽々と奪回。目標株価は2340円とするが順調に上値を追っていく買い安心銘柄だ。

PER(株価収益率)	18.8倍
PBR(株価純資産倍率)	3.83倍
配当利回り	2.07%
営業利益増益率	16.2%
純利益増益率	21.8%
自己資本比率	38.2%
売買単位	100株
年初来高値	2,320円(4.4)
年初来安値	1,217円(1.4)



## [信用取組] (千株)

申込期日	売り	買い	倍率
3.29	0	581	1,163.8
4.5	0	558	930.5
4.12	0	481	-
4.19	0	467	-

## 業績

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	利益 (百万円)	1株益 (円)	1株配 (円)
24.1	13,528	3,700	3,295	2,217	110.1	19
25.1会予	14,960	4,300	3,900	2,680(24.03.13発表)		
25.1東予	15,000	4,300	3,900	2,700	112.8	44
26.1東予	16,500	4,700	4,300	3,000	125.3	44~48

東予は東洋経済予想、会予は会社予想



9765 東証プライム

オ オ バ

買いレンジ 1,060~1,110円

売りレンジ 1,190~1,230円

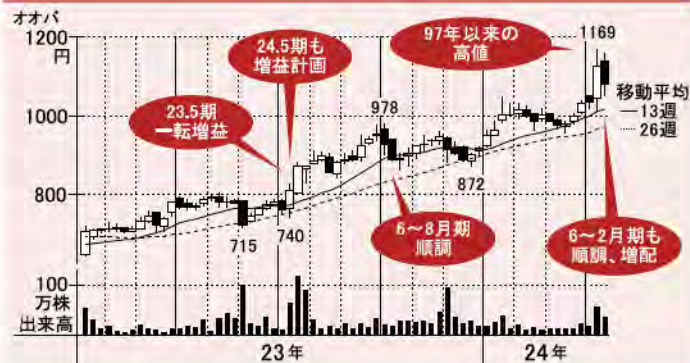
時価=1,097円(4.26引け値)

## TSMC熊本や自衛隊施設など案件豊富、高利回りも後押し

下値は固い

計画、調査から設計までを担う建設コンサル。道路や橋梁、上下水道などの施設設計のほか、都市計画や街づくりにも強みを持つ。地震被害の調査・復興を含めた国土強靱化や老朽インフラ対策、自衛隊施設など防衛土木、半導体などの産業用地の設計開発などテーマ性豊富。総還元性向60%、配当性向50%をメドに株主還元にも積極的で、配当利回りは3%台と高水準だ。業績面では熊本でのTSMC工場やソニー半導体工場関連の開発許可可、土木設計業務など案件が目白押し。来25年5月期も自衛隊施設の最適化など防衛土木が牽引、14期連続の営業増益へ。株価は97年以来の高値圏に浮上しているが、過熱感はなく、今後の業績成長を勘案すれば上値余地は十分。目標株価は1210円とするが、1500円台突破を目指す。

PER(株価収益率).....15.0倍  
 PBR(株価純資産倍率).....1.60倍  
 配当利回り.....3.37%  
 営業利益増益率.....6.8%  
 純利益増益率.....8.8%  
 自己資本比率.....60.7%  
 売買単位.....100株  
 年初来高値.....1,169円(4.12)  
 年初来安値.....921円(1.4)



### [信用取組] (千株)

申込期日	売り	買い	倍率
3.29	7	65	8.3
4.5	7	62	8.5
4.12	33	77	2.4
4.19	9	92	9.3

### 業績

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	利益 (百万円)	1株益 (円)	1株配 (円)
23.5	15,647	1,714	1,787	1,075	66.7	24
24.5会予	17,000	1,800	1,850	1,150 (23.07.13発表)		
24.5東予	17,000	1,830	1,880	1,170	73.0	37
25.5東予	18,200	1,940	1,990	1,240	77.4	37~39

東予は東洋経済予想、会予は会社予想



3099 東証プライム

三越伊勢丹ホールディングス

買いレンジ 2,170~2,270円

売りレンジ 2,420~2,510円

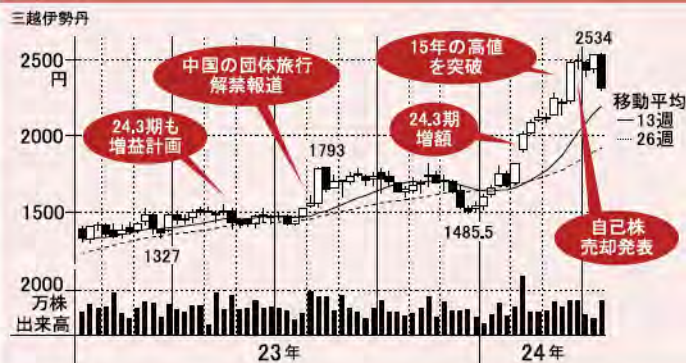
時価=2,239円(4.26引け値)

## 国内富裕層や訪日客増加で客数増、営業増益、連続増配期待

**統合前の株価へ**

世界で初めて正札販売を開始した創業350周年の三越と、伊勢丹が経営統合した国内最大の百貨店グループ。国内屈指の売上高を誇る新宿伊勢丹、日本橋三越の両本店が主柱。子会社に札幌丸井三越、福岡岩田屋三越などを上得意客を対象にした外商にも強み。富裕層消費、インバウンド関連銘柄。今25年3月期は国内富裕層や訪日客の需要が引き続き旺盛。高付加価値の商品拡充で来店客が増加。外商も好調。地方店の経費削減進め、営業益続伸。増配期待。株価は20年3月安値479円で底打ち、今年4月には15年7月の戻り高値2395円を約9年ぶりに抜いてきた。現在は押し目買いの好機。目標株価は2470円とするが、08年の共同持株会社設立前の株価である06年の2750円突破を目指したい。

PER(株価収益率)	21.0倍
PBR(株価純資産倍率)	1.47倍
配当利回り	1.43%
営業利益増益率	68.9%
純利益増益率	23.5%
自己資本比率	45.8%
売買単位	100株
年初来高値	2,542.5円(4.15)
年初来安値	1,511円(1.4)



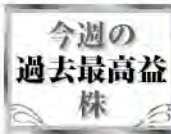
## [信用取組] (千株)

申込期日	売り	買い	倍率
3.29	1,058	846	0.8
4.5	1,016	822	0.8
4.12	1,106	863	0.8
4.19	849	906	1.1

## 業績

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	利益 (百万円)	1株益 (円)	1株配 (円)
23.3	487,407	29,606	30,017	32,377	84.8	14
24.3会予	527,000	50,000	54,000	40,000(24.02.02発表)		
24.3東予	527,000	50,000	54,000	40,000	106.6	32
25.3東予	560,000	58,000	60,000	42,000	111.9	32~36

東予は東洋経済予想、会予は会社予想



7649 東証プライム

スギホールディングス

買いレンジ 2,250~2,350円

売りレンジ 2,510~2,610円

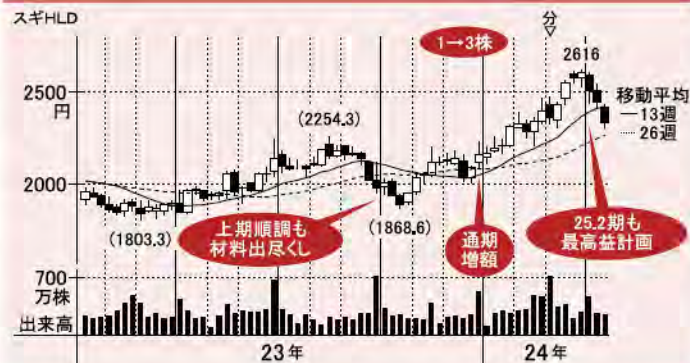
時価=2,324円(4.26引け値)

## 店舗運営の効率化で過去最高益、最高値圏に接近へ

実質大幅増配

東海地盤のドラッグストアで、業界大手「スギ薬局」を展開。調剤併設率約8割で、薬局買収に積極的。25年2月期は売上高8100億円(前期比8.8%増)、営業利益400億円(同9.2%増)と過去最高益の見通し。今期は120出店・20退店で100店舗純増予定。調剤では、生産性向上と対人業務強化も図りながら既存店売上高は前期比6.3%増を想定。物販も地域顧客に合わせた品ぞろえ・店舗づくりを図るほか、DX推進で原価低減や投資効率も推進。インバウンドの追い風も寄与。株価は年初来高値をつけてから全体相場の波乱もあり、一休み。だが業績は順調で下値は限定的。目標株価は2560円とするが、最高値圏の3000円を意識したい。年後半以降を見据え成長内需株として持っておきたい銘柄だ。

PER(株価収益率).....16.8倍  
 PBR(株価純資産倍率).....1.80倍  
 配当利回り.....1.51%  
 営業利益増益率.....9.2%  
 純利益増益率.....13.7%  
 自己資本比率.....59.7%  
 売買単位.....100株  
 年初来高値.....2,616円(3.29)  
 年初来安値.....2,110.6円(1.4)



### [信用取組] (千株)

申込期日	売り	買い	倍率
3.29	62	92	1.5
4.5	59	124	2.1
4.12	54	115	2.1
4.19	45	114	2.5

### 業績

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	利益 (百万円)	1株益 (円)	1株配 (円)
24. 2*	744,477	36,622	38,039	21,979	121.5	26.667
25. 2会予	810,000	40,000	41,500	25,000 (24.04.02発表)		
25. 2東予	810,000	40,000	41,500	25,000	138.2	35
26. 2東予	880,000	43,000	44,500	27,000	149.2	35

東予は東洋経済予想、会予は会社予想、\*は株式分割等で1株益、1株配を調整



今週の ビル再生 株	5532 東証グロース	買いレンジ 1,780~1,860円
	<b>リアルゲイト</b>	売りレンジ 1,990~2,060円
		時価=1,838円(4.26引け値)

## 都心の築古ビル再開発で高成長、底値も固まり本格上昇へ

**案件豊富** 東京・渋谷区を軸に築古ビルの再生、転貸借事業を展開する成長企業。都心部では相次いで大型オフィスビルが開業し、大企業の本社移転が話題となっている。大規模再開発に伴い、競争力を失った築古ビルの空室率上昇問題が発生するが、築古ビルに対して耐震補強や用途変更など抜本的改良を行い、スモールオフィスやシェアオフィスとして再生させている。ビジネスモデルは、ビルオーナーとの定期転貸借契約や運営受託といったストック型収入が7割強と安定した収益構造。今年9月期は会社業績予想の上方修正が濃厚。『会社四季報』の1株利益は160円に達する。株価は年初来高値を更新して上値を試す展開。目標株価は2030円とするが、昨年9月高値の2184円奪還から3000円台復帰を見据えたい。

PER(株価収益率)	11.5倍
PBR(株価純資産倍率)	1.87倍
配当利回り	0.0%
営業利益増益率	27.7%
純利益増益率	61.9%
自己資本比率	22.1%
売買単位	100株
年初来高値	1,932円(4.23)
年初来安値	1,393円(1.4)



### [信用取組] (千株)

申込期日	売り	買い	倍率
3.29	0	103	-
4.5	0	109	-
4.12	0	106	-
4.19	0	102	-

### 業績

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	利益 (百万円)	1株益 (円)	1株配 (円)
23.9	6,972	548	484	278	126.2	0
24.9会予	7,700	640	585	405(23.10.31発表)		
24.9東予	7,700	700	640	450	160.5	0
25.9東予	8,700	740	690	500	178.3	0

東予は東洋経済予想、会予は会社予想

株式市況基本指標

年月日	日経平均株価225種		総合 (TOPIX)	騰落銘柄数		売買高	売買代金	東証 グロース 250	NYダウ 工業株30種	ナスダック 総合指数
	前日比			値上がり	値下がり					
	円	円	ポイント			万株	百万円	ポイント	ドル	ポイント
年初来最高 (月日)	40,888.43 3月22日		2,813.22 3月22日			236,898 3月15日	6,394,947 3月8日	779.71 2月28日	39,807.37 3月28日	16,428.82 3月22日
年初来最低 (月日)	33,288.29 1月4日		2,378.79 1月4日			141,367 1月30日	3,754,758 1月30日	638.74 4月19日	37,266.67 1月17日	14,510.30 1月4日
2024.3.29金	40,369.44	201.37	2,768.62	1,367	253	175,159	5,089,032	746.45	-	-
4.1月	39,803.09	▲566.35	2,721.22	287	1,331	189,505	4,644,251	734.62	39,566.85	16,396.83
2火	39,838.91	35.82	2,714.45	286	1,344	173,605	4,400,266	713.83	39,170.24	16,240.45
3水	39,451.85	▲387.06	2,706.51	807	791	179,795	4,760,890	700.25	39,127.14	16,277.46
4木	39,773.14	321.29	2,732.00	1,010	575	198,441	4,796,357	696.22	38,596.98	16,049.08
5金	38,992.08	▲781.06	2,702.62	566	1,026	182,633	4,510,869	691.04	38,904.04	16,248.52
8月	39,347.04	354.96	2,728.32	1,226	383	156,579	4,063,343	697.26	38,892.80	16,253.95
9火	39,773.13	426.09	2,754.69	1,155	441	155,143	3,959,693	701.55	38,883.67	16,306.64
10水	39,581.81	▲191.32	2,742.79	841	754	146,306	3,803,397	702.37	38,461.51	16,170.36
11木	39,442.63	▲139.18	2,746.96	697	893	160,735	4,129,317	692.10	38,459.08	16,442.20
12金	39,523.55	80.92	2,759.64	931	664	163,518	4,578,694	687.37	37,893.24	16,175.09
15月	39,232.80	▲290.75	2,753.20	690	910	160,886	3,985,762	680.75	37,735.11	15,885.02
16火	38,471.20	▲761.60	2,697.11	169	1,465	197,840	4,783,574	661.60	37,798.97	15,865.25
17水	37,961.80	▲509.40	2,663.15	226	1,388	177,851	4,502,472	650.12	37,753.31	15,683.37
18木	38,079.70	117.90	2,677.45	1,396	224	152,028	4,059,001	659.87	37,775.38	15,601.50
19金	37,068.35	▲1011.35	2,626.32	86	1,554	216,875	5,465,827	638.74	37,986.40	15,282.01
22月	37,438.61	370.26	2,662.46	1,470	161	170,828	4,307,068	651.25	38,239.98	15,451.31
23火	37,552.16	113.55	2,666.23	936	651	143,044	3,701,431	650.64	38,503.69	15,696.64
24水	38,460.08	907.92	2,710.73	1,195	402	174,055	4,551,383	655.60	38,460.92	15,712.75
25木	37,628.48	▲831.60	2,663.53	234	1,389	159,431	3,966,937	640.12	38,085.80	15,611.76

※売買高、売買代金の数値は概算です。※年初来最高、年初来最低は終値ベース。

◆投資部門別 株式売買状況 [金額]

	個人	海外投資家	法人			金融機関内訳			委託計	自己計	総計
			投資信託	事業法人	金融機関	生・損保	都銀・地銀等	信託銀行			
2023年5月	▲15,326	24,504	▲4,002	3,672	▲15,553	▲454	▲1,033	▲12,400	▲8,114	9,126	1,011
2023年6月	▲8,628	15,916	▲2,289	2,080	▲8,429	▲67	▲1,265	▲6,761	▲203	611	407
2023年7月	3,190	5,168	▲1,403	2,541	▲4,834	155	▲832	▲3,456	5,911	▲6,162	▲250
2023年8月	▲6,560	▲4,113	815	8,812	▲5,161	▲83	▲410	▲4,761	▲7,317	7,479	162
2023年9月	10,259	▲19,384	▲3,227	3,534	▲12,510	74	▲1,022	▲10,562	▲20,991	21,628	637
2023年10月	6,464	10,924	1,809	4,934	▲2,795	▲177	▲929	▲1,591	21,485	▲21,388	97
2023年11月	▲11,619	577	▲165	5,540	1,154	▲552	▲1,524	3,645	▲4,291	4,617	326
2023年12月	▲4,039	▲4,644	859	6,531	▲2,724	▲194	▲605	▲1,438	▲2,130	2,187	57
2024年1月	▲9,899	20,903	▲7,007	3,612	▲10,018	▲381	▲2,361	▲6,906	▲3,040	2,686	▲353
2024年2月	▲2,869	9,669	▲6,030	2,267	▲17,613	▲487	▲2,470	▲14,747	▲15,703	16,051	347
2024年3月	3,012	339	▲5,272	732	▲22,229	▲862	▲1,189	▲19,804	▲22,546	22,245	▲301
2024年4月	8,752	▲5,617	482	488	▲350	10	▲352	▲40	3,814	▲3,801	12

(注) 4月は第3週(4/15-4/19)のみ、立会外取引を含む、その他法人・金融機関は記載なし。単位は千万単位を切り捨て、億円表記。▲は買い越しでなく売り越し。(出所) 東証

東洋経済 株式ウイークリー

東京市場



ニューヨーク市場



持続

三陽商会

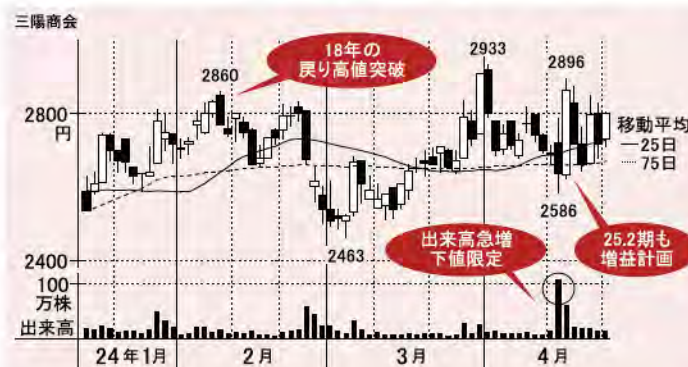
8011 東証プライム

2月5日号で注目

百貨店向けやEC順調、16年以来の3000円台へ

アパレル大手で百貨店向けに実績。今25年2月期は売上高625億円（前期比1.9%増）、営業利益33億円（同8.3%増）を計画。百貨店向けは新規9つの出店を計画、直営店もインバウンドや基幹ブランド中心に売り上げ増を目指す。

強化中のEC・通販も実店舗との相互送客を継続。株価は18年の戻り高値2848円を突破、今回の日米同時株安の局面でも頑強。4%超の利回りも株価を下支え。16年以来の3000円台回復、定着とみて持続方針で。



注目時株価	2,724円
現在株価 (4月24日)	2,937円
注目時からの変化率	7.8%
最高上昇率 (売り推奨は最高下落率)	7.8%

過去の注目株①

注目後高値と注目後安値は、原則注目時から直近の木曜日取引終了時までのザラ場の値。目標株価は注目時から10%上昇した価格で計算。「持続」のまま目標株価に達した場合**成功**、次号以降は**達成**を記す。

コード・銘柄	注目時 株価	注目後 安値	目標 株価	注目後 高値	4/25 時価	ポイント・処置
<b>2月5日号</b>						
3984 ユーザーローカル	2,073	1,989	2,280	2,869	2,050	<b>達成!</b> 注目時から約38%上昇、AIによる自動応答サービス成長、自律反発へ
8011 三陽商会	2,724	2,463	3,000	2,986	2,877	持続、年初来高値、25年2月期も増益(11ページのクリニックに詳報)
7818 トランザクション	2,457	1,670	2,710	2,577	1,843	持続、雑貨EC販売が好調、上期増額、通期据え置きで売られるが自律反発へ
6670 M C J	1,241	1,238	1,370	1,480	1,362	<b>達成!</b> 独自ブランドで評価高い、通期増額修正、地合い悪化でも高値を維持
7180 九州フィナンシャルG	961.7	891.1	1,060	1,216	1,041	<b>達成!</b> 半導体関連の融資増に期待、熊本の好調は長期継続、金利に先高感
4380 M マート	1,476	1,228	1,630	1,546	1,342	持続、業務用食材卸サイト運営で成長、9期連続最高益へ、説明会は反応薄
<b>2月12日号</b>						
9115 明海グループ	755	701	840	938	731	<b>達成!</b> 海運で110年超の運行実績、通期増額、PBRは0.6倍台でなお割安
4725 CAC Holdings	1,785	1,755	1,970	2,038	1,950	<b>達成!</b> 独立系システム構築・運用会社、24年12月期も業績堅調
6745 ホーチキ	2,152	2,112	2,370	2,293	2,264	持続、好採算のメンテ・更新案件順調で増額、連続最高益更新、モミ合い
7011 三菱重工業	1,022.5	1,030	1,125	1,460	1,328	<b>達成!</b> 注目時から約43%上昇、受注残は豊富、最高益、株式10分割
6644 大崎電気工業	676	624	750	734	678	持続、スマートメーター好調で一昨18年以來の高値、中期で4桁台回復へ
4174 アピリッツ	1,145	1,125	1,260	1,538	1,139	<b>達成!</b> 注目時から約33%上昇、ECサイト、Webサービス展開の成長企業
<b>2月19日号</b>						
3374 内外テック	2,987	2,778	3,290	3,765	2,909	<b>達成!</b> 減益でも増配、半導体需要の回復で25年3月期はV字回復へ、割安
7864 フジシルインターナショナル	1,974	1,930	2,180	2,166	2,010	持続、市場シェア5割強の知られざる巨人、欧州など改善、下値は限定
8022 ミズノ	5,110	5,090	5,630	7,710	7,350	<b>達成!</b> 注目時から約51%上昇、競技用品が伸長、最高益、なお上値余地
4536 参天製薬	1,583	1,394.5	1,750	1,589.5	1,491.5	持続、構造改革進展で黒字転換、自律反発後、夏に向けてジリ高を期待
7220 武蔵精密工業	1,657	1,481	1,830	1,726	1,649	持続、25年3月期もEV向けシャフトやギアなどが増加、25日線を維持
3762 テクマトリックス	1,975	1,619	2,180	2,089	1,646	持続、企業のネットセキュリティ対策需要が旺盛、悪材料はなく自律反発へ
<b>2月26日号</b>						
5975 東プレ	2,366	2,344	2,610	2,702	2,495	<b>達成!</b> 自動車プレス部品が内外で絶好調、PBRはまだ0.7倍台、下値は限定
6383 ダイフク	3,376	3,103	3,720	3,678	3,149	持続、世界的保管・搬送システム企業、半導体向け受注回復へ、売られすぎ
4004 レゾナック・ホールディングス	3,554	3,201	3,910	4,000	3,334	<b>達成!</b> 半導体後工程向け材料回復で進行高、石油化学も底打ち、自律反発へ
6503 三菱電機	2,323.5	2,323.5	2,560	2,610.5	2,397	<b>達成!</b> 自動車機器やインフラの収益改善で連続最高益、モミ合い、下値限定
6937 古河電池	965	965	1,070	1,079	1,012	<b>達成!</b> 宇宙用リチウムイオン電池で注目、自動車用鉛電池も復調、下値固い
6088 シグマックス・ホールディングス	1,672	1,508	1,840	1,852	1,583	<b>達成!</b> 優良顧客持つ新興コンサル、AIも活用して企業のDX推進、自律反発へ
<b>3月4日号</b>						
4275 カーリットホールディングス	1,021	994	1,130	1,145	1,121	<b>達成!</b> 高値モミ合い、シリコンウエハが伸長、ボトリノも好調で連続最高益
4765 S B I G A	770	659	850	785	662	持続、新NISAの恩恵を享受、25年3月期も好業績の可能性が高い
5401 日本製鉄	3,784	3,369	4,170	3,847	3,429	持続、当初計画から増配、07年以來の相場期待、USスチールと共同声明発表
6013 タクマ	1,938	1,823	2,140	1,998	1,915	持続、年初来高値、受注最高水準、プラント完工増で利益反発、上昇継続
7564 ワークマン	4,020	3,840	4,430	4,270	3,915	持続、銀座にも新業態店持つ有力チェーンに株価反転の兆し、王者に対抗へ
4060 rakumo	1,258	955	1,390	1,519	985	<b>達成!</b> 業務用グループウェアをSaaSで展開、グロースの地合い悪化最終局面
<b>3月11日号</b>						
9412 スカパーJSATホールディングス	984	909	1,090	1,107	929	<b>達成!</b> 航空機向けのWi-Fiビジネスが拡大、25年3月期は8期ぶり最高益更新へ
8725 MS&ADホールディングス	2,670.3	2,483.7	2,940	2,840	2,762	持続、年初来高値、なお割安、株式3分割、ビッグモーター問題も最悪期すぎる
5310 東洋炭素	7,700	7,170	8,470	8,480	7,350	<b>達成!</b> 半導体向け製品が成長続き連続最高益、07年以來の1万円に現実味
4088 エア・ウォーター	2,345.5	2,215	2,580	2,433.5	2,303.5	持続、M&Aを経て成長、25年3月期も半導体向け需要が拡大、最高益更新狙う
4202 ダイセル	1,468	1,377	1,620	1,536	1,424	持続、25年3月期は自動車部品が復調、環境分野も有望、株価は15年最高値視野
4371 コアコンセプト・テクノロジー	2,696	2,218	2,970	2,859	2,327	持続、製造業・建設業向けDX支援で急成長中、グロース銘柄は売られすぎ

■電話による投資相談は一切実施しておりません。ご了承ください。

## 東洋経済 株式ウイークリー

## 過去の注目株②

「持続」は目標株価にはまだ届いていないものの、継続保有を推奨する場合を表す。「見切り」は、手仕舞いを含めた柔軟な対処を求める。その場合は「ポイント・処置」の中で今後の株価見直しなどを記載。

コード・銘柄	注目時 株 価	注目後 安 値	目標 株 価	注目後 高 値	4/25 時 価	ポイント・処置
<b>3月18日号</b>						
6141 DMG 森 精 機	3,959	3,821	4,360	4,330	4,150	持続、受注が好調、高性能機種が伸び連続最高益更新、モミ合い後、最高値へ
7245 大同メタル工業	685	602	760	724	615	持続、4~12月期までほぼ目標達成、自動車部品トップ企業の底力、反発へ
2782 セ リ ア	3,070	2,743	3,380	3,170	2,794	持続、既存店は昨年秋からプラス、100円ショップに「節約需要」の追い風
8097 三 愛 オ プ リ	2,055	1,982	2,270	2,133	2,058	持続、国際線需要増で燃料販売増額、増配幅も拡大、一時89年高値抜く
3591 ワコールホールディングス	3,612	3,366	3,980	3,821	3,434	持続、高価格帯とネット販売堅調、リストラ終え営業損益黒字化、5月決算待つ
4396 システムサポート	1,950	1,809	2,150	2,212	1,860	<b>達成!</b> 地方発祥のクラウド構築支援企業、DXニーズ旺盛、下ヒゲ示現し反発へ
<b>3月25日号</b>						
5185 フ コ ク	1,805	1,773	1,990	2,068	1,894	<b>達成!</b> モミ合い、新車の生産回復で自動車の高機能部品好調、PBRは0.8倍台
4216 旭 有 機 材	5,210	4,720	5,740	5,480	4,835	持続、半導体の高性能化で浮上、25年3月期も続伸、売られすぎで自律反発へ
6140 旭ダイヤモンド工業	977	877	1,080	997	910	持続、25年3月期は業績急回復、一時約6年ぶり1000円台復帰、5月決算待ち
6947 函 研	4,625	3,940	5,100	4,725	3,975	持続、北米をはじめ、世界14カ国で事業展開、特段の悪材料なく自律反発へ
5957 日 東 精 工	618	572	680	648	601	持続、車載用ネジが好調、EV向け注力で収益力改善の見通し
3150 グ リ ム ス	2,122	1,916	2,340	2,251	2,009	持続、コンサルサービス企業として高成長、下ヒゲ連発し2000円台定着へ
<b>4月1日号</b>						
7012 川 崎 重 工 業	5,097	4,571	5,610	5,044	4,648	持続、航空機エンジン関連の補償損失が一巡、今25年3月期は営業益急回復
6674 ツーエス・ユア コーポレーション	3,146	2,888	3,470	3,196	2,922	持続、新車販売の増加で車載電池好調、連続最高益更新、10年ぶり高値突破へ
7745 A&Dホロンホールディングス	2,900	2,496	3,190	2,973	2,617	持続、好採算の半導体関連が続伸、利益確定売り出たが最高益更新は間近
3569 セ ー レ ン	2,758	2,560	3,040	2,788	2,609	持続、25年3月期も連続最高益、株価は90年最高値の3460円に接近へ
1719 安 藤 ハ ザ マ	1,186	1,144	1,310	1,210	1,165	持続、土木に強い優良ゼネコン、利回り5%、小休止後の最高益更新目標は不変
7110 ク ラ シ コ ム	1,596	1,433	1,760	1,634	1,545	持続、競争強い北版テイストのE.C、グロース株は変動激しいが最高値目標不変
<b>4月8日号</b>						
5741 U A C J	4,330	4,325	4,770	4,820	4,565	<b>達成!</b> 25年3月期は仕材、厚板、自動車向け回復、10年ぶり高値、モミ合い
6463 T P R	2,359	2,167	2,600	2,405	2,297	持続、トヨタ自動車の設計思想に対応、2018年以來6年ぶりの株価3000円台も
6101 ツ ガ ミ	1,105	1,100	1,220	1,307	1,279	<b>達成!</b> 年初来高値、25年3月期は中国向け回復、株価はモミ合いを経て反発
9418 U-NEXTHOLDINGS	4,925	4,035	5,420	5,250	4,140	持続、M&Aで浮上、会員数大幅増加で上場来高値、順調だが利益確定売り
8104 クワザワホールディングス	997	981	1,100	1,160	1,000	<b>達成!</b> 年初来高値後一服、北海道の半導体案件が寄与、1991年以來の高値
3661 エムアップホールディングス	1,125	1,011	1,240	1,135	1,030	持続、ファンサイト運営に定評、夏に高値をつける習性、クールジャパンで注目
<b>4月15日号</b>						
8012 長 瀬 産 業	2,634	2,540	2,900	2,669.5	2,597	持続、先端半導体メーカー向けの取引獲得、最高値圏でもなおPBR0.8倍台
7389 あいちフィナンシャルグループ	3,205	3,025	3,530	3,300	3,120	持続、地元の資金需要が順調で連続増益、一気に最高値更新でも割安な地銀銘柄
9022 東 海 旅 客 鉄 道	3,620	3,522	3,990	3,694	3,589	持続、ビジネス客も増加、百貨店やホテルも伸び連続増益、いったん下値固めに
7270 S U B A R U	3,577	3,270	3,940	3,581	3,276	持続、アメリカが順調拡大、連続最高益で増配期待、株価は一時2018年以來の高値
2986 L A ホールディングス	4,780	4,515	5,260	4,810	4,695	持続、1億円以上の案件で高付加価値化を追求、ボックス相場から上抜けへ
6549 ティーエムソリューションズ	1,403	1,415	1,550	1,498	1,483	持続、E.C向け物流パッケージサービスが成長、4期ぶり最高益水準へ
<b>4月22日号</b>						
7725 インターアクション	1,588	1,516	1,750	1,637	1,518	持続、減益計画が一転増益、太陽線を示現、本格上昇開始へ
4092 日本化学工業	2,402	2,390	2,650	2,470	2,390	持続、前24年3月期を上修正、今期も増益で半導体向けが好調に推移
6464 ツバキ・ナカシマ	813	829	900	855	835	持続、自動車向け部品が数量回復、株価は昨年末に底入れ、株価2倍を狙う
3457 And Doホールディングス	1,220	1,234	1,350	1,259	1,236	持続、高齢者向けの不動産取引が伸び、連続最高益、年初来高値更新
9247 TREホールディングス	1,206	1,227	1,330	1,275	1,234	持続、25年3月期は復興関連需要が本格化、株価はいよいよ底離れへ
9164 ト ラ イ ト	655	615	730	711	617	持続、外資系証券格下げが売られすぎ、介護や看護などの人材派遣に強み

■社名の前に**売**りが付いている銘柄はカラ売り対象。ポイント・処置等は、将来の成果を約束するものではありません。

# 米国市場を

## 斬る

景況感の改善で、「景気敏感株」に注目



4月は米国景気の強さを示す経済指標が相次いだ。3月ISM製造業景況指数は、1年半ぶりに景況感の分かれ目となる50を上回った。3月消費者物価指数も、エネルギー価格の上昇やサービス価格の高止まりにより市場予想を上回る結果となった。

これらを受け、市場ではFRB（米連邦準備制度理事会）による利下げ期待が急速に後退。3月末時点で24年に2〜3回とみられていた利下げ回数は、直近では1〜2回との織り込みに変わってきた。

年初から利下げの開始時期は後ずれが続いているが（年初は3月利下げ開始の見方が多かった）、景気が堅調なことからデーター次第でさらに後ずれとなる可能性があるだろう。しかし、賃金や家賃の伸びは緩やかながらも鈍化の傾向が続いている。

移民の増加による労働需給の緩和などで堅調な経済とインフレ鈍化は両立すると思われる。ゆえに極端なエネルギー価格の上

昇などがなければ、利下げ開始の遅れはあっても期待が消失することは考えにくい。今後はFRBがQT（量的引き締め）のペース減速を決めることも想定され、長期金利の上昇は限定的になるとみている。

銘柄としては景気敏感株に注目したい。S&P500企業の業績見通し（LSEG集計）をみると、資本財セクターの利益は年後半にかけ伸び率が改善する見通し。24年1〜3月期決算などを通じて見通しが引き上がってくる展開を期待する。

建機大手のキャタピラーは、半導体工場への投資が活発化していることや、AIの開発・利用増加等を背景としたデータセンター建設が必要につながる可能性がある。加えて、米国では橋や道路といったインフラの老朽化も課題となっており、60万以上ある橋の4割ほどが一般的な耐用年数である50年を超えているといわれている。古いインフラの更新と、データ時代の新たなイ

ンフラの構築需要の寄与に注目したい。

建機レンタルのユナイテッド・レンタルズもインフラ更新・構築需要が追い風になる。さらに、レンタルを活用する建設企業は必要なときに必要な間だけ使うことができ、大型の重機に投資するリスクが抑えられる。機械のメンテナンスコスト削減にもつながるため、建機レンタル市場は拡大傾向にある。その中で最大手の同社は拡大する需要を取り込みやすいと考える。

産業用の資材や工具の販売で最大手のWグレインジャーにも注目。豊富な品揃えと通販サイトの活用で、大企業から中小企業まで幅広い顧客を持つ。米国の製造業の景況感が改善することで、資材の需要につながることも予想される。同社はMonotaro（3064）の親会社である。

最後に、電力インフラ建設・保守を得意とするクアンタ・サービシズも取り上げたい。AIなどデータ社会の到来や脱炭素が進む中で、電力エネルギーの重要度は高まると思われる。一方で、米国では送電網も老朽化が進んでおり、更新需要や敷設需要が増加しよう。同社の23年12月末の受注残は過去最高を更新している。（大和証券 シニア・ストラテジスト 柴田光浩）

# 米国景気敏感4銘柄

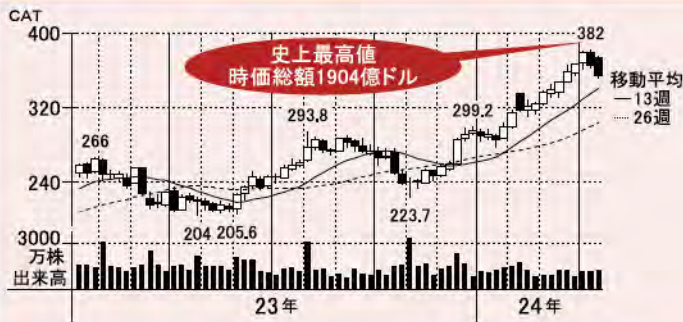
★「今週の注目株」ではありません。ご注意ください。目標株価が時価を下回っている場合があります。

## CAT NYSE キャタピラー

建設機械の世界最大手で、世界各地に販売拠点を有する。建機以外にも、鉱山やエネルギー資源開発向けの機械も手がける。自律運転が可能な機械も展開している。

目標株価  
325.31ドル

PER(株価収益率).....16.45倍  
 PBR(株価純資産倍率).....9.35倍  
 配当利回り.....1.45%  
 営業増益率(予想).....5.8%  
 最終増益率(予想).....0.9%  
 自己資本比率.....22.28%  
 ROE(株主資本利益率).....58.45%  
 過去1年高値.....382.01<sup>ドル</sup>(24.4.8)  
 過去1年安値.....204.04<sup>ドル</sup>(23.4.27)



[四半期]

	売上高 百万ドル	1株益(予想) ドル	1株配 ドル
23.6	17,318	5.67	4.51
23.9	16,810	5.45	4.75
23.12	17,070	5.27	4.71
24.3予	16,036	4.97	4.97

業績	売上高 (百万ドル)	営業利益 (百万ドル)	経常利益 (百万ドル)	利益 (百万ドル)	1株益 (ドル)	1株配 (ドル)
22.12	59,427	7,904	8,752	6,705	12.64	4.71
23.12	67,060	12,966	13,050	10,335	20.12	0.16
24.12予	67,512	13,712	13,326	10,430	20.92	5.47
25.12予	69,515	14,158	13,768	10,706	22.23	5.82

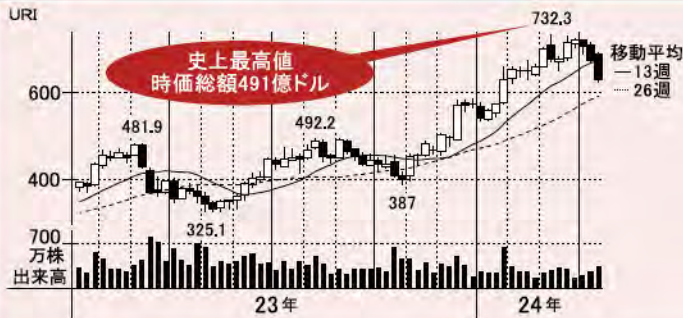
※予想はトムソン・ロイター集計のアナリストコンセンサス。GAAPベース。株価と予想は4/19時点

## URI NYSE ユナイテッド・レンタルズ

1997年創業の建機レンタル会社。米国の建機レンタル市場の15%を占める最大手で、北米中心に1500超の拠点を持つ。建機以外のレンタルや中古機器の販売も行う。

目標株価  
660.33ドル

PER(株価収益率).....13.99倍  
 PBR(株価純資産倍率).....5.24倍  
 配当利回り.....1.03%  
 営業増益率(予想).....8.5%  
 最終増益率(予想).....9.0%  
 自己資本比率.....31.77%  
 ROE(株主資本利益率).....31.91%  
 過去1年高値.....732.37<sup>ドル</sup>(24.3.4)  
 過去1年安値.....325.15<sup>ドル</sup>(23.5.4)



[四半期]

	売上高 百万ドル	1株益(予想) ドル	1株配 ドル
23.6	3,554	8.59	8.35
23.9	3,765	10.30	10.56
23.12	3,728	9.98	10.29
24.3予	3,442	7.31	7.31

業績	売上高 (百万ドル)	営業利益 (百万ドル)	経常利益 (百万ドル)	利益 (百万ドル)	1株益 (ドル)	1株配 (ドル)
22.12	11,642	3,232	2,802	2,105	29.66	0.00
23.12	14,332	3,827	3,211	2,424	35.28	0.16
24.12予	15,036	4,153	3,606	2,643	38.68	6.46
25.12予	15,668	4,337	3,803	2,742	42.26	6.83

※予想はトムソン・ロイター集計のアナリストコンセンサス。GAAPベース。株価と予想は4/19時点

2024年5月6日発行 (毎週月曜日発行)

毎週土曜日 東京中央郵便局より速達郵送

購読料(税込)

25号(半年) 5万8000円  
50号(1年) 9万9000円

東洋経済 株式ウイークリー

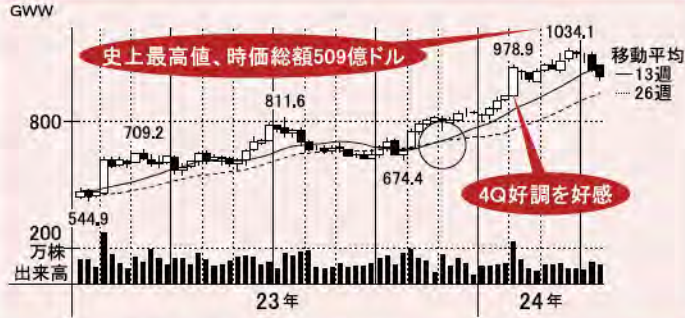
GWW NYSE

WWグレインジャー

工具類やメンテナンス部品など、保守・修理・運用 (MRO) に関わる間接材の大手販売代理店。営業担当者を通じた販売とオンラインによる販売を組み合わせる。

目標株価  
1,007.99ドル

PER(株価収益率).....23.06倍  
PBR(株価純資産倍率).....13.55倍  
配当利回り.....0.79%  
営業増益率(予想).....6.5%  
最終増益率(予想).....5.3%  
自己資本比率.....38.23%  
ROE(株主資本利益率).....65.85%  
過去1年高値.....1,034.18<sup>ドル</sup>(24.3.21)  
過去1年安値.....641.95<sup>ドル</sup>(23.6.1)



[四半期]

	売上高 百万ドル	1株益(予想) ドル	1株配 ドル
23.6	4,182	9.34	9.12
23.9	4,208	9.50	8.93
23.12	3,997	7.98	8.04
24.3予	4,259	9.65	9.65

業績

	売上高 (百万ドル)	営業利益 (百万ドル)	経常利益 (百万ドル)	利益 (百万ドル)	1株益 (ドル)	1株配 (ドル)
22.12	15,228	2,215	2,146	1,547	30.27	6.78
23.12	16,478	2,565	2,500	1,829	36.51	0.16
24.12予	17,478	2,731	2,663	1,927	39.32	7.78
25.12予	18,679	2,935	2,873	2,059	43.01	8.47

※予想はトムソン・ロイター集計のアナリストコンセンサス。GAAPベース。株価と予想は4/19時点

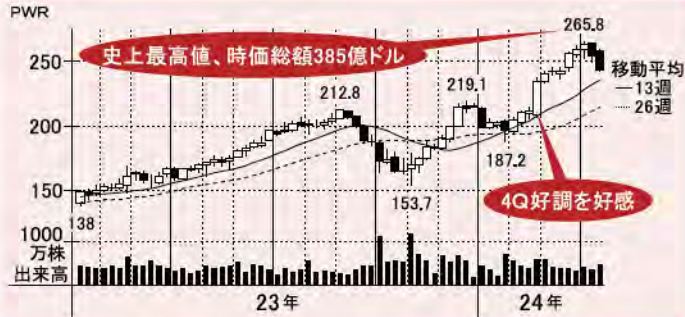
PWR NYSE

クアンタ・サービス

電力を中心に各種インフラの敷設や保守を行う特殊工事請負会社。2021年に再エネ工事を会社を買収して成長市場の事業を強化。電柱地中化需要などの寄与も期待される。

目標株価  
262.18ドル

PER(株価収益率).....28.00倍  
PBR(株価純資産倍率).....5.70倍  
配当利回り.....0.15%  
営業増益率(予想).....30.0%  
最終増益率(予想).....21.1%  
自己資本比率.....38.63%  
ROE(株主資本利益率).....12.78%  
過去1年高値.....265.82<sup>ドル</sup>(24.4.4)  
過去1年安値.....153.74<sup>ドル</sup>(23.11.1)



[四半期]

	売上高 百万ドル	1株益(予想) ドル	1株配 ドル
23.6	5,049	1.12	1.09
23.9	5,621	1.83	1.60
23.12	5,784	1.42	1.44
24.3予	4,925	0.75	0.75

業績

	売上高 (百万ドル)	営業利益 (百万ドル)	経常利益 (百万ドル)	利益 (百万ドル)	1株益 (ドル)	1株配 (ドル)
22.12	17,074	872	703	491	3.32	0.32
23.12	20,882	1,127	969	744	5.00	0.16
24.12予	22,606	1,465	1,479	901	6.22	0.36
25.12予	24,577	1,705	1,764	1,090	7.45	0.39

※予想はトムソン・ロイター集計のアナリストコンセンサス。GAAPベース。株価と予想は4/19時点

株式ウイークリー

発行人/田北浩章 編集長/福井 純

© TOYO KEIZAI INC. 2024

発行所/東洋経済新報社

103-8345 東京都中央区日本橋本石町1-2-1

関西支社/530-0005 大阪市北区中之島3-3-3 中之島三井ビルディング24階

印刷所/港北メディアサービス株式会社

予約購読のお申し込み

フリー ☎ 0120-206-308

コールセンター ☎ 03-6386-1040

(受付時間 9:30~17:30 土日祝・休)

本誌は株式投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、銘柄選択や投資の最終決定は、ご自身の判断・責任でなされるようお願いいたします。

本誌に掲載している記事、写真、図表、データ等は、著作権法や不正競争防止法をはじめとする各種法律で保護されています。当社の許諾を得ることなく、本誌の全部または一部を、複製、翻案、公衆送信する等の利用はできません。もしこれらに違反した場合、たとえそれが軽微な利用であったとしても、当社の利益を不当に害する行為として損害賠償その他の法的措置を講ずることがありますのでご注意ください。本誌の利用をご希望の場合は、事前に当社 (TEL: 03-6386-1040) もしくは当社ホームページの「転載申請入力フォーム」までお問い合わせください。